

平成30年長野県女性雇用環境等実態調査票

【個人調査】

無記名アンケートへのご協力をお願い

この調査は、県内事業所の従業員の方の就業実態や意識を調査し、労働行政の基礎資料とすることを目的として行うものです。

個人や会社が特定されることは一切ありませんので、ご安心いただき、ありのままをお答えいただきたいと存じます。

調査結果は平成31年1月長野県公式ホームページで公表予定です。

長野県の労働統計

検索

URL : <http://www.pref.nagano.lg.jp/rodokoyo/sangyo/rodo/toukei/toukei/index.html>

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 特にごとわりのない限り、該当する番号を一つ選んで○で囲んでください。
- 2 特にごとわりのない限り、平成30年4月1日現在の状況を記入してください。
- 3 「その他」に○をつけた場合は、ご面倒でも（ ）内に具体的内容を記入してください。
- 4 ご記入が終わりましたら、返信用封筒(切手不要)に入れて、**8月10日(金)**までにご返送ください。

【調査に関するお問合せ先】 長野県産業労働部労働雇用課調査情報係 担当：北村
電話 026-235-7119 F A X 026-235-7327
住所 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2
E-mail rodokoyo@pref.nagano.lg.jp

1 ご本人について

問1 あなたご自身の状況をお聞きます。該当する番号に○をつけてください。

この欄が未記載ですと、無効回答となってしまいますので、記載もれのないようお願いいたします。

性 別	1 男性				2		女性	
	年 齢	1	10代	2	20代	3	30代	
	4	40代	5	50代	6	60歳以上		
雇 用 形 態	1	正社員	2	パート	3	派遣社員		
	4	臨時・嘱託	5	その他 ()				
現在の会社での勤続年数	1	3年未満	2	3年以上5年未満	3	5年以上10年未満		
	4	10年以上20年未満	5	20年以上				
現在の会社での役職	1	役員	2	部長級	3	課長級		
	4	係長級	5	役職にはついていない				
配偶者の有無	1	有		2	無			
配偶者の扶養	1	有		2	無			
配偶者の就業	1	有		2	無			
子どもの有無	1	有		2	無			

2 働き方について

問 1 現在の会社に入社したのは、どのような形ですか。（ひとつに○）

卒業後初めて 就職した	一旦離職後、再就職した				
	結婚・出産による離職	介護による離職	配偶者の転勤に伴う離職	契約期間満了	左記以外の離職
1	2	3	4	5	6

問 2 あなたは、希望した仕事（職種）につけていますか。

1	はい	理由を教えてください。 (ひとつに○)	1	働きたい職種の求人がないから
2	いいえ		2	家事・育児との両立が難しいから
			3	応募したが採用されなかったから
			4	その他 ()

問 3 現在の会社でいつまで働きたいと思いますか。（ひとつに○）

1	定年まで（定年後の再雇用含む）	2	結婚するまで
3	子どもができるまで	4	生計が楽になるまで
5	次の仕事が見つかるまで	6	親族の介護が必要になるまで
7	一定期間（技能習得・貯金等）	8	その他 ()

問 4 あなたは、管理・監督職への昇任を希望していますか。

1	いる	希望する職位	社長・役員相当職まで	部長相当職まで	課長相当職まで	係長相当職まで
2	いない		1	2	3	4

希望しない理由を教えてください。（複数回答可）

1	責任が重くなるから	2	残業や出張が増えるから
3	部下を持つのがいやだから	4	残業しても残業代がもらえないから
5	現場の仕事にやりがいを感じるから	6	目標となる上司がいないから
7	経験やキャリアがないから	8	仕事と家事・育児等の両立が難しいから
9	その他 ()		

問 5 あなたは、現在の職場で、男女差があると感じますか。（複数回答可）

1	感じる	感じる内容	1	女性の賃金や手当が同一職種・勤続年数の男性より低いこと
2	感じない		2	女性の昇任や昇格が男性よりも遅いこと
			3	女性の仕事の内容が補助的なものに偏っていること
			4	女性は仕事以外の雑務をさせられていること
			5	女性の研修・教育訓練の機会が男性と比べて不十分なこと
			6	女性には結婚・出産退職の慣行があること
			7	その他 ()

問 6 女性が仕事を続けていく上で必要だと思うことに○をしてください。（回答は4つまで）

1	育児休業制度の充実	2	介護休業制度の充実
3	子の看護休暇制度の充実	4	保育・託児施設の充実
5	女性に対する職域の拡大	6	賃金・昇進などの男女間の公平性の確保
7	研修・教育の充実	8	女性自身の意識の向上
9	職場の同僚・上司の理解と協力	10	家庭における役割分担の見直し
11	社会一般の男性の理解	12	短時間正社員制度の導入
13	フレックスタイムの導入	14	在宅勤務制度の導入
15	残業が少ない（ない）こと	16	遠距離通勤・転居を伴う転勤がないこと

3 家庭と仕事の両立について

問 7 お子さんはいますか。 一番下のお子さんの年齢を教えてください。

1	いる	→ 問9へ	□	歳 (平成30年4月1日現在)
2	いない			

問 8 問7で「いる」と回答された方にお聞きます。一番下のお子さんについて、あなたは育児休業を取得しましたか。

1	した	した期間	1	1か月以下	2	6か月以下	3	1年以下	4	2年以下	5	3年以下	6	3年超
2	しなかった	しなかった理由	1	制度がなかった	2	代替者がいなかった	3	取得する必要がなかった	4	その他 ()				

全員の方にお伺いします。

問 9 現在、介護が必要な親族等はいますか。「いる」場合、どなたですか。

1	いる	→ 問13へお進みください。	1	同居の親族	2	別居の親族	3	その他 ()
2	いない							

問 10 「介護が必要な親族」がいる場合、主にどなたが介護をしていますか。

1	あなた	2	あなたの妻(夫)	3	同居の親族	4	別居の親族	5	施設等に入所	6	その他 ()
---	-----	---	----------	---	-------	---	-------	---	--------	---	---------

問 11 現在、問9の方の介護のための休暇・休業制度の利用を考えていますか。

1	現在利用している	2	利用を予定している	3	考えているが決まっていない	4	考えていない
---	----------	---	-----------	---	---------------	---	--------

問 12 現在、問9の方の介護のために離職を考えたり、検討していますか。

1	離職を予定している	2	離職を考えているがまだ決めかねている	3	考えていない
---	-----------	---	--------------------	---	--------

問 13 あなたが望ましいと考える「女性が企業で働く期間」はどれですか。(ひとつに○)

1	結婚・出産にかかわらず継続して働くのがよい	2	結婚するまで働くのがよい
3	出産するまで働くのがよい	4	子育てにめどが付いたら再び働くのがよい
5	わからない	6	その他 ()

問 14 問13で「子育てにめどが付いたら再び働くのがよい」と回答した方にお聞きます。

この場合、どのような雇用形態が望ましいと考えますか。(ひとつに○)

1	正社員	2	パート	3	派遣社員	4	臨時・嘱託	5	その他 ()
---	-----	---	-----	---	------	---	-------	---	---------

問 15 あなたは男女の家庭と仕事のバランスについてどのように考えていますか(ひとつに○)

1	男性は外で働き、女性は家庭を守るのがよい
2	女性は家事・育児等を優先し、余裕があれば仕事をするのがよい
3	男女とも同じように仕事をし、家事育児等は平等に分担するのがよい
4	その他 ()

4 ハラスメント等について

問 16 過去3年間に、あなたや、同僚が、顧客等から悪質なクレーム(※)を受けたことがありますか。

※理不尽で過剰な要求や、暴力的な行為など、「悪質」と感じたクレームについて回答してください

1	有	2	無
---	---	---	---

問 17 悪質なクレームは、増加していると感じますか。

1	有	2	無
---	---	---	---

問 18 過去3年間に、職場でセクシュアルハラスメントうけたことがありますか。

ある場合は、その相手と状況について、該当の番号に○をしてください。(複数回答可)

1	有	→	1	上司	↑ 具体的 内容	1	不快な性的冗談・からかい
2	無		2	同僚		2	不必要な身体的接触
		3	部下	3		性的含みのある手紙・メール・電話等を受けた	
		4	取引先	4		わいせつな写真や絵の提示	
		5	その他 ()	5		性的関係の誘いを受けた	
						6	執拗に交際を迫られた
						7	性に関する噂を流された
						8	セクハラ拒否、抗議をしたら、不当な扱いを受けた
						9	その他 ()

5 がんの治療と仕事の両立支援について

近年、国民の2人に1人は一生のうちに1回はがんになると言われており、がんになっても、仕事をやめることなく、治療と仕事を両立できる社会の実現が求められています。

問 19 あなたはがんにかかった際、相談できる窓口を知っていますか。(複数回答可)

1	知っている	→	窓 口		相談できる内容
2	聞いたことはある		1	がん相談支援センター	がんに関すること全般
3	知らない		2	長野産業保健総合支援センター	両立支援に関すること
			3	ハローワーク松本	出張就職相談会
			4	その他 ()	

問 20 あなたの職場では両立支援のための環境・制度が整備されていると思いますか。(複数回答可)

1	思う	→	1	両立支援を行うための会社の基本方針の表明と職場内周知
2	思わない		2	がん等の病気にかかった際、相談できる社内窓口
3	知らない		3	両立支援に関する制度や休暇などの整備
			4	管理職や一般社員に向けた両立支援に関する研修
			5	その他 ()

問 21 両立支援について、必要だと思う会社の制度・取組について、○をつけてください。(3つまで)

1	傷病手当金(健康保険)	2	産業スタッフ等による相談支援
3	傷病休暇制度	4	勤務時間の変更
5	時短勤務・時間単位での有給休暇	6	業務内容の変更や配置転換
7	がんに関する従業員への研修	8	貸金等保障制度(補助金・見舞金等)
9	その他 ()		

以上で終了です。
御協力いただき、ありがとうございました。

ご記入の内容をご確認のうえ、同封の返信用封筒(切手不要)にて、8月10日(金)までに御返送ください。

平成30年 長野県女性雇用環境等実態調査報告書

平成30年 12月

調査機関 協同組合長野シーアイ開発センター

発行 長野県産業労働部労働雇用課

住所 〒380-8570

長野市大字南長野字幅下692-2

電話 (直) 026-235-7119

(代) 026-232-0111 (内線2476)

E-mail: rodokoyo@pref.nagano.lg.jp